

いじめ問題再発防止に関する基本方針にかかる安倉小の行動計画

[illegible]

基本方針				取組	実 施 時 期															
柱	方向性	取組内容	目指す姿	具体的行動	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	中期	長期		
子どもの主体性を育てます	子どもの主体性を育む授業へ転換します	主体的・対話的で深い学びの教育を進めます	友達の意見を大事しながら、主体的に課題解決に取り組む子ども	主体的・対話的で深い学びをふまえた校内授業研究を実施します。 日々の学習活動で合意形成を図る話し合いの場の充実を図ります。			授業研			授業研	授業研	授業研 全校研究会	授業研		授業研 全校研究会		継続	継続		
	子どもが参画する学校づくりを行います	子どもが主体的に行う行事を実施します。 学校の課題について、児童自らが考え取り組みを進めます。	集団への一員であることに対する自覚を高め、人と人とのふれあいやつながりを大切にする子ども	児童会行事については児童が主体となって実施します。その他の行事についても、児童会として参加できる場面や方法を検討していきます。	1 年生を迎える会		あくらっ子タイム				運動会 あくら小まつり	音楽会			あくら小まつり	あくらっ子タイム	6 年生を送る会	児童が主体の企画・実践・検証を定着させる	児童が主体の企画・実践・検証を定着させる	
																			拡充	拡充
	子どもへのエンパワメントを促進します	C A P の活用と検証を行います	自分の思いを言葉や態度で適切に表現できる子ども	3 年生で C A P の授業を行い、自分の心と体を守る予防教育を実施し、その成果と課題をつかみます。					授業 検証										継続	継続
		いじめ防止教育につながるゲストティーチャーの授業を行います		弁護士や警察官、大学教授など、人権に関する講師による児童対象の出前授業を実施します。						4 年授業 6 年授業										継続
チーム学校で取り組みます	学校の組織対応力を向上させます	教師が一人で抱え込まない教師集団を作ります	日常的に情報交換を行い、互いに信頼し合える教職員	学年や専科の枠を超えて相談できる場やチームで対応できる体制の充実を図ります。					討議					討議				継続	継続	
		多職種連携を推進します	互いの専門性を信頼し、連携できる学校組織	各担当、SC,SSW がそれぞれの専門性を活かし、各ケースに対応したチーム会議を開催します。	コア会議 ケース会議													継続	継続	
	子どもを育む地域や関係機関との連携を行います	地域ぐるみで子どもを見守ります	情報を発信し、家庭・地域に開かれた学校	学校運営協議会、青少年育成市民会議等で、学校の様子を説明し、地域で子どもを育むことの協力を求めます。	見守り隊 各ボランティア活動		学校運営協議会					学校運営協議会				学校運営協議会		継続	継続	
		保育所・幼稚園・小中学校・養護学校の連携を強化します	中学校区における目指す子ども像の実現に向けた教育の連携を推進する保幼小中学校園所	中学校区の子どもの実態等の情報交換を行い、いじめに対する学校の指導体制・指導内容の充実を図ります。									連携会議		連携会議	中学校授業・部活動見学 幼稚園との交流授業	連携会議	継続	継続	
		関係機関との連携を図ります	関係機関と情報を共有し、迅速に対応できる学校組織	学校の各ケースについて、常に家庭児童相談室、青少年センター等と組織的に連携を図ります。	連携													継続	継続	
及び根拠にします	体罰を根絶します	体罰の禁止を徹底します	子ども一人ひとりの人権を守ることに徹する教職員	体罰・ハラスメントの根絶に向けた事例研修を実施し、教職員の人権意識を高めます。	研修			研修					研修					継続	継続	
	あらゆるハラスメントを根絶します	あらゆるハラスメントを根絶します			研修			研修					研修					継続	継続	